

環境調査結果のお知らせ

令和5年2月15日午前10時から浦ノ内湾の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は水温が10.8～13.6℃、塩分が33.1～34.0、溶存酸素量が5.9～10.7mg/Lでした。また、透明度は3.0～7.0 mでした。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・パピリオナセアが最高で1 cell/mL、ディクチオカ属が最高で10 cells/mL確認されました。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

水温と塩分(表1・2)

水温は10.8～13.6℃、塩分は33.1～34.0でした。前回調査時(R5.1.11)と比較して、水温は全層で0.2～0.8℃低下しました。塩分は全層で2.6～2.8上昇しました。

溶存酸素量(表3)

溶存酸素量は5.9～10.7mg/Lでした。

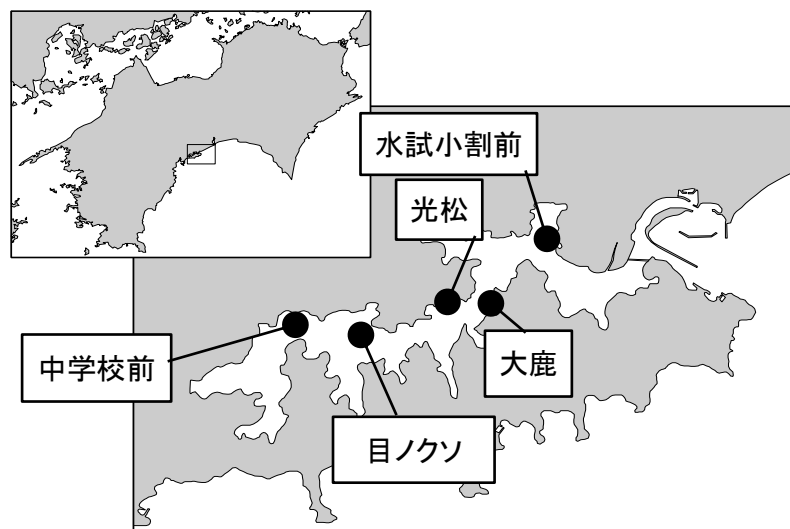
前回調査時(R5.1.11)と比較して、表層から10m層で0.2～0.5mg/L増加し、底層では前回と同様の値を示しました。

透明度・プランクトン(表4・5)

透明度は3.0～7.0 mでした。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・パピリオナセアが最高で1 cell/mL、ディクチオカ属が最高で10 cells/mL確認されました。

海や養殖魚、貝類の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均※	前回調査(1/11)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	10.8	12.2	13.0	13.0	13.6	12.7	13.4	▲ 0.7
2m	11.5	12.1	13.0	13.0	13.6	12.7	13.3	▲ 0.6
5m	12.0	12.4	12.9	13.0	13.5	12.8	13.2	▲ 0.4
10m	12.1	12.3	12.9	12.9	—	12.7	12.9	▲ 0.2
B-1m	11.7	11.7	12.0	12.3	13.3	12.0	12.8	▲ 0.8

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均※	前回調査(1/11)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	33.1	33.6	33.9	33.9	34.0	33.8	31.1	2.7
2m	33.3	33.6	33.9	33.9	34.0	33.8	31.1	2.7
5m	33.6	33.7	33.9	33.9	34.0	33.8	31.1	2.7
10m	33.7	33.7	33.9	33.9	—	33.9	31.1	2.8
B-1m	33.6	33.7	33.7	33.8	34.0	33.7	31.1	2.6

表3 溶存酸素量(mg/L)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均※	前回調査(1/11)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	10.7	9.6	8.8	8.8	8.5	9.1	8.6	0.5
2m	10.4	9.6	6.6	5.9	6.9	7.4	7.2	0.2
5m	9.9	9.5	8.8	8.7	8.4	9.0	8.6	0.4
10m	9.5	8.9	8.7	8.7	—	8.8	8.5	0.3
B-1m	9.3	8.6	8.4	8.4	8.5	8.5	8.5	0.0

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	12.6	16.5	17.8	17.4	10.0
透明度	3.0	4.5	6.0	6.0	7.0
前回(1/11)	4.0	4.0	4.5	4.5	5.5

表5 プランクトン(cells/mL)

		カレニア・ バピリオナセア	デイクチオカ属	珪藻類
		中学校前	0m	0
	2m	0	0	0
	5m	0	2	0
	10m	0	4	0
	11m	0	3	0
目ノクソ	0m	0	1	0
	2m	0	9	3
	5m	0	9	2
	10m	0	5	0
	14m	0	3	1
光松	0m	0	0	0
	2m	0	10	2
	5m	1	10	1
	10m	0	7	2
	15m	0	0	0
大鹿	0m	0	1	3
	2m	0	0	1
	5m	0	8	0
	10m	0	5	2
	15m	0	7	0
水試 小割前	0m	0	0	1
	2m	0	0	0
	5m	0	5	1
	8m	0	0	0